

# 南海トラフ地震 津波対策

## 大阪府防災会議

南海トラフ巨大地震  
災害対策等  
検討部会

南海トラフ巨大地震  
土木構造物耐震対策  
検討部会

地震後、液状化により防潮堤が沈下等するため、早期の対策が必要。

大阪府域全体 (大阪府・大阪市所管分の合計)

対象延長

89km

概算事業費

2,100億円

H26～

防潮堤補強工事実施。

H26年度末現在 (大阪府管理分)

現在、対策延長約56.7kmのうち、  
5.8kmにおいて対策済。

前半5年で残り29.1kmを  
対策工事予定。



## 被害想定



経済被害

約29兆円

死者数

13万人以上

浸水面積

約11,000ha

## 対策 (大阪市内部分)

西淀川区



対策延長

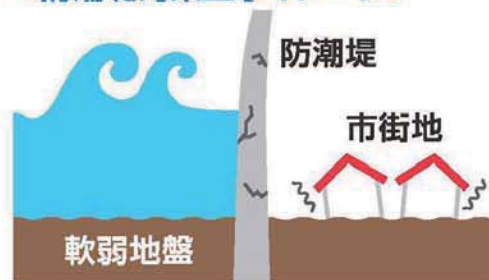
89km

— 満潮時に直ちに浸水  
— 百数十年規模の  
津波により浸水

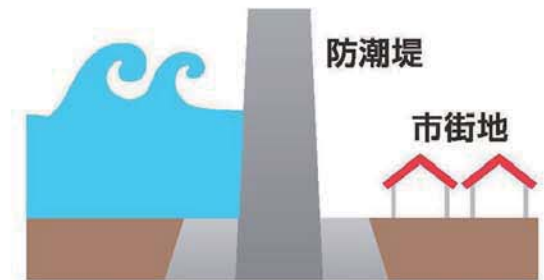
H26年から10年間で2,100億円の集中対策

特に、地震直後の浸水で人命が失われるおそれのある箇所の対策は、3年で完了 (H26-H28)

<防潮堤対策工事イメージ>



地盤  
改良



液状化による地盤沈下等を防止